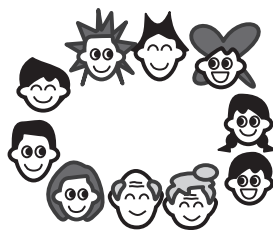


# 津谷歯科医院 口腔ケア新聞

NPO法人  
訪問歯科診療  
を広める会  
賛助会員



令和8年3月号

発行人 津谷歯科医院

院長 津谷良

住所 岡山市中区海吉1807-14

紙面に關するお問い合わせは下記まで

電話: 0120-779-418

配信代行: 訪問歯科診療を広める会

皆さん、こんにちは！いかがお過ごしですか？

津谷歯科医院、院長の津谷良です。

新型コロナでは、感染者の約4割に味覚障害が発症し原因がわからず問題となりました。『味がわからない』と感じる場合、多くは味覚の病気や薬の影響等が重なって発症します。放置すると濃い味を好むようになり、高血圧等のリスクが高まるため早めに対処することが重要です。味覚障害は全体の半数以上を高齢者が占めるという海外調査もあり、高齢になるほど発症頻度が高くなる傾向があります。舌の表面にある味を感じる味蕾の数や機能が低下したり味蕾をつくるのに必要な亜鉛の不足、薬の副作用が主な原因です。耳鼻科、内科、歯科が受診先で、味覚障害の約2割が歯科領域という報告があります。今月は、『口腔内が原因の味覚障害』についてご紹介します。



口腔疾患や入れ歯の問題をしっかりと評価すると、歯科的アプローチが有効なケースは少なくありません。

## 1. ドライマウス(口腔乾燥)

**原因** → 加齢や薬の副作用、唾液腺の機能低下等で唾液が減ると、食べ物や舌の味蕾に届きにくくなり、『味が薄い』『味がしない』と感じます。乾燥が強いと粘膜が傷つき炎症を起こすことで味蕾に影響して味覚低下を起こすこともあります。

**対応** → 必要に応じて唾液分泌検査等を行い、保湿ジェル・洗口液の使用や唾液腺マッサージ、食生活での指導等を行います。

## 2. 入れ歯・噛み合わせの不具合

**原因** → 上の総入れ歯が口蓋(上あご)を広く覆っていると、食べ物や飲み物が舌や口蓋に直接触れなくなり風味を感じにくくなります。違和感の強い入れ歯や合わない噛み合わせは、咀嚼や唾液分泌を妨げ、『おいしい』と感じにくくなります。

**対応** → 口蓋を覆う部分(床)をチェックして、可能な範囲で形態を薄く小さく調整します。自費で作る入れ歯の場合は、床が硬い金属で薄く小さいため

温度や風味がわかりやすいのがメリットです。

## 3. 口腔カンジタ・舌炎

**原因** → カンジタ症では、舌や粘膜に白い苔状の付着やひりひり感が出て、味覚が低下することがあります。栄養不足や入れ歯の不清潔等が重なると、舌乳頭が萎縮してつるつるの舌になり、味が感じにくくなる場合もあります。

**対応** → 感染があれば薬剤による治療と入れ歯の消毒と清掃方法の見直しをします。炎症の場合、必要なら薬剤による治療と、原因となる刺激(合わない入れ歯や鋭縁の歯等)を除去します。

## 4. 口腔衛生不良・歯周病

**原因** → 歯垢・歯石の付着や強い歯周炎があると、慢性炎症や不快な味・匂いが続き、本来の味がわかりにくくなる場合があります。舌苔が厚く付着していると味蕾が覆われ、味覚の低下につながります。

**対応** → 歯石除去や歯周病治療、歯科衛生士による専門的な歯面清掃により、慢性炎症を減らし口の中をすっきりさせます。また歯磨きと入れ歯清掃の方法を指導します。

## ◆ おいしい食事は人生を豊かに彩りのある楽しいものにしてくれます ◆

口腔ケア新聞の発行にあたって



ここ数年、外来患者さんやそのご家族から訪問診療のお問い合わせやご依頼を受けるケースがとて増えてきました。小さなご病気されてしまったことがキッカケで、寝たきりになってしまわれたりして、『いつもお元気でいいですね』って話をしていたのに…。そんなことが続いたので、これは本格的に訪問診療に取り組まなければいけないかなって、強く思うようになりました。

そこで取り組みの一環として、要介護者の歯と口に関する情報を地域の介護に携わっている方にお届けしようと考え、口腔ケア新聞を毎月1回発行しています。

## 津谷歯科医院

**診療時間** 9:00~12:30/14:00~18:30  
(土曜日は16:30まで)

**診療科目** 歯科 小児歯科

**休診日** 木曜・日曜・祝祭日

**院長** 津谷 良

岡山市中区海吉1807-14

☎ 0120-779-418 FAX 0120-779-413